

愛知発の新しい学び方

「ラーケーションの日」

ラーニング バケーション
Learning (学ぶ) + Vacation (休暇)



愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを
応援するために、「ラーケーションの日」をスタートします。

子供の学び（ラーニング）と、保護者の休み（バケーション）を組み
合わせた、平日だからこそできる学校外での学習活動を、ぜひ子供と一
緒に計画してみませんか。

令和5年7月
愛知県教育委員会
豊川市教育委員会

ラーケーションの日とは

愛知県全体のワーク・ライフ・バランスの充実を目指す、「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーションの日」は、「学習(ラーニング)」と「休暇(バケーション)」を組み合わせた愛知県発の新しい学び方・休み方です。

子供が保護者等とともに、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日 —— それが「ラーケーションの日」です。

校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。

保護者等の休暇に合わせて届け出をし、年に3日まで取ることができます。(ただし、2023(令和5)年度については、2学期以降の実施となるため、2日までとなります。)

ラーケーションの日 届け出の流れ

1 計画を立てる

子供と一緒に体験や探究の学び・活動を話し合い、計画を立てる。

※ 右ページを参考に

- (1) 県の「ラーケーションの日」の Web ページにアクセスする。
- (2) 「ラーケーションカード」を見て、子供と計画をする。

① 学ぶ日 ② 学ぶ場所 ③ 学ぶこと

2 届け出る

「ラーケーションの日」をとる前日までに、「ラーケーションカード」を東部小学校に提出する。

※「ラーケーションカード」については、Web ページから印刷または学校のものをご使用ください。(担任に申し出るまたは、職員室前ロッカーに取りに来る)

3 ラーケーション

子供と一緒に、校外で体験や探究の学び・活動を行う。

4 振り返る

学んだことについて子供と話し合ったり、次回の計画を考えたりする。

ご留意いただきたいこと

□ 給食カットについては、「ラーケーションの日」をとる 1 週間前までに「ラーケーションカード」が提出された児童を対象とさせていただきます。提出がそれ以降になった場合、「ラーケーションの日」をとることはできますが、給食をカットすることはできません。

□ 「ラーケーションの日」を取ることで受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。

□ 以下の期間は行事などの教育活動のため、ラーケーションの日を取ることはできません。

9月25日～10月1日(運動会と準備) 3月1日(6年生を送る会)

11月6日～11日(学習発表会と準備) 3月13日～19日(卒業式と準備)

12月7日～8日(マラソン大会と予備日) ※6年生のみ

ラーケーションの日 活動のポイント

- ・ 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- ・ 「何について学ぶか」を事前に子供と一緒に話し合ってみてください。そこから「ラーケーションの日」は始まります。
- ・ 遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学びの種」はあふれています。家族と一緒に活動すると、新たな発見があるかもしれません。

■ 学びのキーワード ■

自然・科学・環境・実験・観察・産業
スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・
見学・創作・鑑賞・キャリア ……

様々な学びを体験できる
ラーケーションスポットを
ポータルサイトで紹介して
います。



再発見！ 地域の史跡を巡ろう

平日は史跡をじっくり
見学したり、ガイドさん
から詳しく話を聞いたり
できます。

地元や近隣にも意外
と史跡はあるものです。



見つけた！ 公園の植物を調べよう

庭や公園で見つけた
植物について親子で一
緒に調べてみましょう。

学びのきっかけは身
近なところにもたくさ
んあるはずです。



収穫の喜び 家族と一緒に農業体験をしよう



私たちが口にしている
野菜は、どんな人の手で育
てられ、どんな風に育っ
ているのでしょうか。

収穫体験や農業体験な
ど、ふだんできないことを
家族で一緒に体験してみ
ましょう。

親子で芸術家！ 様々な表現方法を知ろう



素敵な風景は初めて
訪れる土地だけでなく
自宅から近いところ
にもあふれています。

家族で同じ景色を見な
がら絵をかき、表現の仕
方を比べてみるのもよい
でしょう。

五感を使って 自然と仲良くなろう

景色を味わう、鳥の声を
聴く、空気を感じる…五感
を使って、自然に親しん
でみてはどうでしょう。

観察をとおして生まれる
発見や問いも大切にしたい
ものです。



気分はシェフ 授業で学んだことを生かそう

家庭科や総合的な
学習の授業等で学ん
だことを生かして、実
際につくってみましょ
う。家族だけのオリジ
ナルレシピが完成す
るかもしれません。





Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。また、県内では、土曜日に働いている方が約45%、日曜日に働いている方が約30%おられ、休みの日に子供と一緒に過ごすことが難しいご家庭が少なくありません。そうしたご家庭でも、平日の保護者が休みの日に、子どもと一緒に学び、活動することができる日として、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q3 急きょ休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーションの日」を届け出ることはできますか。

A3 前日でも、「ラーケーションの日」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をお願いします。

Q4 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A4 ラーケーションは、ラーニング(学び)+休暇(バケーション)ですので、「学び」の要素が必ず必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりに活動ですので、家庭でよく話し合っけて計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

Q5 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A5 ラーケーションは、①保護者と一緒に行く、②体験や探究の学び・活動です。そのため、①②を満たす活動がラーケーションということになります。前ページの「学びのキーワード」や活動例などを参考にして、子供と話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずですよ。

<お問い合わせ先>

■ 制度全般に関すること	愛知県教育委員会	義務教育課	052-954-6799
■ 届け出等に関すること	豊川市教育委員会	学校教育課	0533-88-8033
	豊川市立東部小学校		0533-86-4368